

# 各施設のご案内

## 生涯学習センター

これまで社会教育会館で行ってきた市民大学や青少年体験学習講座などの各種講座の実績を踏まえ、さまざまなライフステージにおける生涯学習の機会と場を提供します。

ホールはステージと大型スクリーンを備え、演劇や合唱、映画会などを行えます。4・5階に計7室ある学習室は、学習会や会議などに使用でき、プロジェクター、スクリーン、マイクやパソコンを使える部屋もあります。そのほか、和室、料理実習室、陶芸窯を併設した創作室があります。



ホール 学習室(パソコン室)

## 福祉センター

市内の地域福祉の拠点となる施設で、三鷹市社会福祉協議会の事務局を配置し、各種貸付の受付や権利擁護センターの運営などを行います。

また、高齢者福祉センター機能として、大広間、浴室、ゴルフ練習場(屋上)などを配置し、高齢者等に趣味や交流の場を提供していきます。このほか、会議室1~4については団体貸出も行います。



大広間



多目的室

## 子ども発達支援センター

北野ハピネスセンター幼児部門で行っている事業の一部について対象年齢を18歳まで拡大し、子どもの発育・発達に関する専門支援を行う中核的な療育支援施設です。

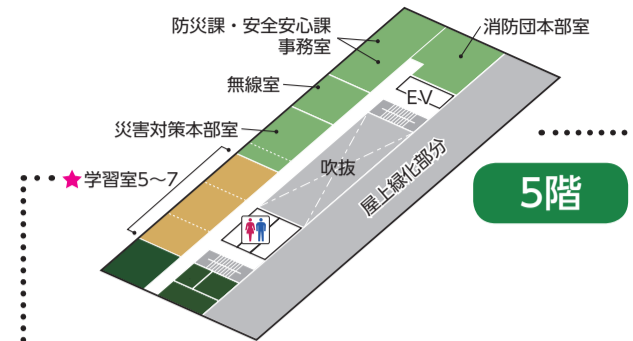
生涯学習センターやSUBARU総合スポーツセンターを利用する方なども対象とした保育室を設置しています。また体育室は、平日夜間および土・日曜日に団体貸出も行います。



保育室

体育室

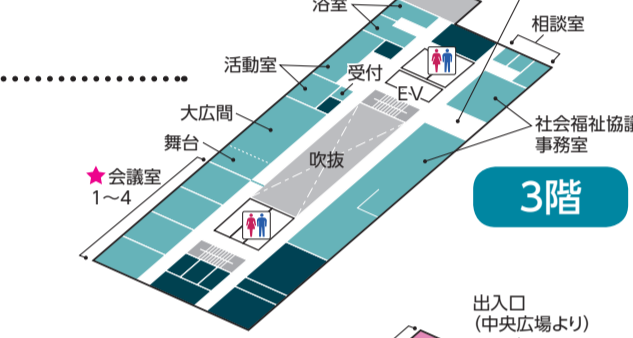
三鷹中央防災公園・元気創造プラザは、屋外の中央広場、西広場、東広場からなる防災公園、中央広場下部の1階・地下1階・地下2階部分のSUBARU総合スポーツセンター、西側建物(元気創造プラザ)1階の子ども発達支援センター、2階の総合保健センター、3階の福祉センター、4階・5階の生涯学習センター、5階の総合防災センターで構成されています。



5階



4階



3階



2階

## 総合防災センター

災害時の災害対策本部などの運営、防災訓練の実施、自主防災組織の育成などの業務を行う防災課と、市内の防犯パトロールなどの業務を行う安全安心課を、市役所3階から移転します。災害時の被害状況などの情報を収集・集約する災害情報システムを導入し、総合防災センターを拠点とした危機管理体制の強化を図ります。

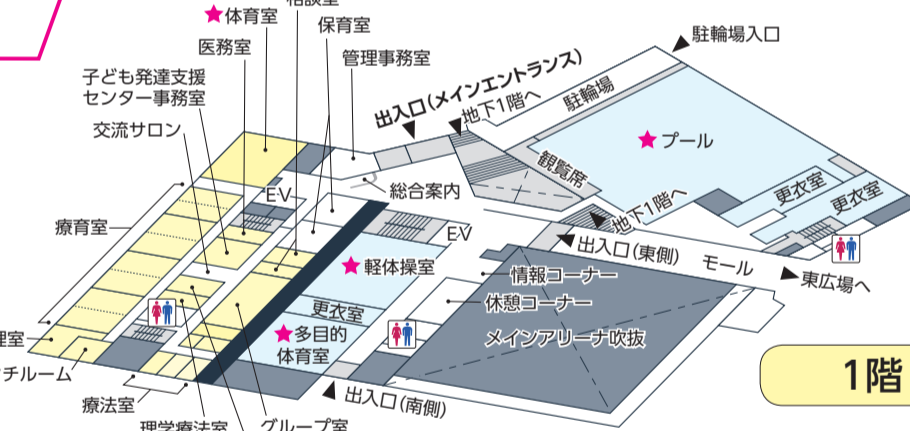


災害対策本部室

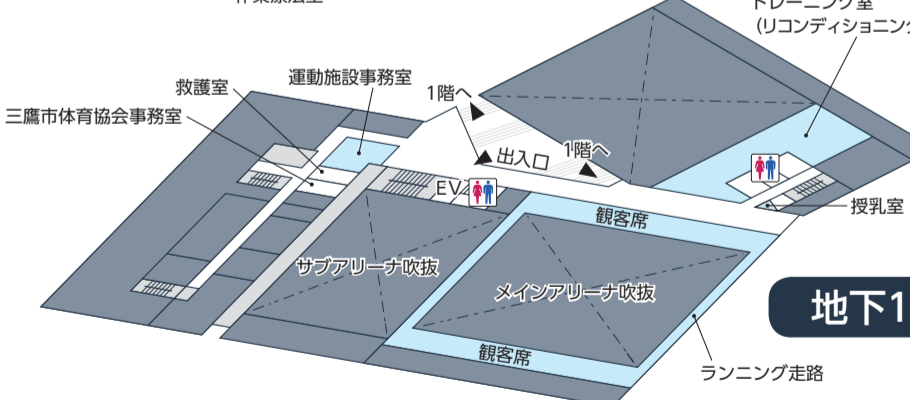
消防活動訓練スペース  
消防団員が、消防ポンプ車を利用して、火災現場での消火活動の基本となる消防操法を中心に訓練を行います。



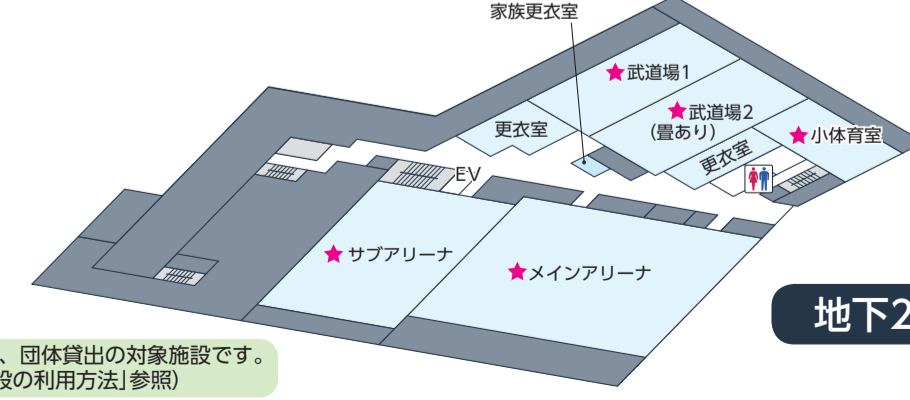
中央広場はSUBARU総合スポーツセンターの上部にあり、建物2階部分と同等の高さになっています。



1階



地下1階



地下2階

★マークは、団体貸出の対象施設です。(4面「施設の利用方法」参照)

## 三鷹中央防災公園

広さ約3,300㎡の開放的な中央広場のほか、西広場(約900㎡)と東広場(約1,400㎡)があります。園内には幼児・児童向けの遊具、健康器具などを設置しています。東広場には多目的スペースや市民花壇のほか、災害用仮設トイレなどの防災関連設備も設置しています。いずれの広場も災害時は一時避難場所として機能します。



中央広場



西広場



東広場

## SUBARU総合スポーツセンター

各種スポーツやトレーニングなどのための設備がそろった、健康・スポーツ推進の拠点施設です。気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ教室なども開催します。

### 【1階の施設】

「プール」「軽体操室」「多目的体育室」を配置しています。プールには、25m×8コースのメインプールのほかに、2コースの健康増進プール、幼児用プールなどがあります。軽体操室は、ヨガやストレッチなどに使用でき、2区分に分けられる可動間仕切りを備えています。多目的体育室は中央に本格的な土俵を設け、その周囲がフローリングとなっています。また、地下2階のメインアリーナを上から眺められる休憩コーナーや、館内の各種情報を発信する情報コーナーなどもあります。



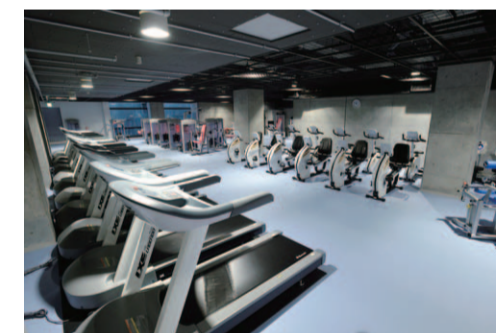
プール



多目的体育室

### 【地下1階の施設】

地下2階メインアリーナ用の観客席(約300席)のほか、個人利用のみ可能な「トレーニング室」「ランニング走路」を配置しています。トレーニング室には、筋力トレーニング機器やランニングマシンなどのフィットネス機器を設置し、システムを用いた健康体力相談も行います。



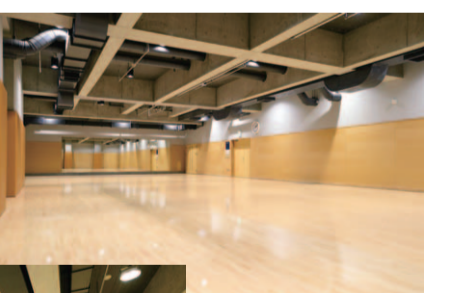
トレーニング室



ランニング走路

### 【地下2階の施設】

「メインアリーナ」「サブアリーナ」「武道場1・2」「小体育室」を配置しています。メインアリーナは、現在の第一体育館の約2倍の面積となっており、防球ネットを2面に分けて利用することが可能です。また、武道場は全体では現在の第二体育館の約2倍の面積で、武道場2は全面が畳敷きとなっています。小体育室は壁面1面が鏡張りのため、ダンスなどに最適です。



小体育室



メインアリーナ



武道場

## 災害時には施設全体が災害対策の拠点になります

災害時には施設全体の機能転換を行い、災害対策活動の中心拠点として稼働します(各施設の災害時の機能については下図参照)。元気創造プラザ部分は、市の災害対策本部、災害医療対策実施本部など、さまざまな本部機能を集結させ、警察・消防・病院をはじめとする関係機関との連携を図りながら、救助・支援活動を実施します。

	平時	機能転換	災害時
元気創造プラザ	5階	総合防災センター、生涯学習センター	災害対策本部、消防団本部
	4階	生涯学習センター	災害対策本部(関係機関対応)
	3階	福祉センター	災害ボランティアセンター本部
	2階	総合保健センター	災害医療対策実施本部
	1階	子ども発達支援センター	福祉避難所
SUBARU総合スポーツセンター	アリーナ、武道場、プールなど	支援物資のストックヤードなど	
防災公園	憩い、レクリエーションの場	一時避難場所	

## 環境にやさしい施設を目指して

新施設では環境負荷を減らすため、施設の運営における省エネルギー、省資源化を図っています。

- 再生可能エネルギーの有効活用  
西側に隣接する可燃ごみ処理施設「クリーンプラザふじみ」のごみ処理過程で発生する熱エネルギーで発電した電力と、発電後に生じる低温水の熱源供給を受け、エネルギーを有効活用します。
- 日差しによる熱負荷を低減  
外壁や窓の断熱化、屋上・壁面・バルコニーの緑化、日射負荷を低減する設備の設置などによって、室内の温度上昇を緩和することで効率的な空調の運用を図ります。
- BEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)の導入  
情報技術を活用して各施設のエネルギー使用状況を把握し、空調や照明などのエネルギー使用機器を制御することで、施設の節電・省エネルギーなどを実現します。

愛称は  
**SUBARU総合スポーツセンター**へ!

富士重工業株式がネーミングライツ・パートナーとなり、4月1日から愛称が「SUBARU総合スポーツセンター」となる予定です。